

# JIS

## 排ガス中の水銀分析方法

JIS K 0222 : 2022

令和 4 年 3 月 22 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 化学・環境技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	千葉 光 一	関西学院大学
(委員)	飯塚 隆	公益社団法人自動車技術会
	上野 博子	一般財団法人化学物質評価研究機構
	大野 香代	一般社団法人産業環境管理協会
	小川 修	一般社団法人日本塗料工業会
	斉藤 良	日本プラスチック工業連盟
	中川 勝博	一般社団法人日本分析機器工業会
	中島 眞理	一般社団法人日本ゴム工業会
	野中 玲子	一般社団法人日本化学工業協会
	花村 美保	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	林 英男	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	林 幸	国立大学法人東京工業大学
	保倉 明子	東京電機大学
	三浦 安史	石油連盟
	山崎 初美	主婦連合会
	山田 美佐子	一般財団法人日本消費者協会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 56.3.1 改正：令和 4.3.22

官 報 掲 載 日：令和 4.3.22

原案作成協力者：一般社団法人産業環境管理協会

(〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル TEL 03-5209-7707)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：化学・環境技術専門委員会 (委員長 千葉 光一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 一般事項	3
5 湿式吸収－還元気化原子吸光分析法	3
5.1 一般	3
5.2 定量下限	4
5.3 試料採取方法	4
5.4 試料採取装置及び試料採取手順	5
5.5 分析方法	12
6 還元金アマルガム捕集－加熱気化原子吸光分析法	20
6.1 一般	20
6.2 定量下限	20
6.3 試料採取方法	20
6.4 試薬	21
6.5 試料採取及び試料採取手順	21
6.6 分析方法	26
7 分析結果の整理及び記録	30
7.1 分析値の表示及びデータの質の管理	30
7.2 記録項目	32
附属書 A (参考) 水銀標準ガスの調製	33
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	36
解 説	37

## まえがき

この規格は、産業標準化法に基づき、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS K 0222:1997** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 排ガス中の水銀分析方法

## Methods for determination of mercury in stack gas

### 序文

この規格は、JIS K 0222:1997 を“排ガス中のガス状水銀”を分析する方法から“排ガス中の全水銀”を分析する方法に改正したものである。なお、この規格の**箇条 6**は、2020年に第1版として発行されたISO 21741を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格の**箇条 6**で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA**に示す。

### 1 適用範囲

この規格は、燃料その他のものの燃焼、又は各種製造の工程などにおいてダクトに排出される排ガス中の全水銀を分析する方法について規定する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 21741:2020, Stationary source emissions – Sampling and determination of mercury compounds in flue gas using gold amalgamation trap (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格のうち、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS K 0050 化学分析方法通則
- JIS K 0095 排ガス試料採取方法
- JIS K 0102:2016 工場排水試験方法
- JIS K 0121 原子吸光分析通則
- JIS K 0211 分析化学用語（基礎部門）
- JIS K 0301 排ガス中の酸素分析方法
- JIS K 0557 用水・排水の試験に用いる水
- JIS K 0901 気体中のダスト試料捕集用ろ過材の形状、寸法並びに性能試験方法
- JIS K 8001 試薬試験方法通則